

# いつも一緒 富山のペットたち

今回は、動物からのSOSに  
気付いてあげるポイントを紹介  
したいと思います。これは、  
ペットと一緒に暮らして行く上  
でぜひとも知っていただきたい  
基本的な事です。

毎日の診察の中で、もう少し  
早く相談してもらえれば良かった  
のに、と思うことがよくあり  
ます。当たり前の事ですが、動  
物から調子が悪いとは言って  
られません。飼  
い主の方が気  
付けてあげる  
しかないの  
です。



あい動物クリニック院長  
小杉 和伸  
(富山市小杉)

飼い主の方の多くは、食事を  
全く食べなくなった時が受診の  
タイミング、と捉えているので  
はないでしょうか。「3日前か  
ら全然食べなくなつて、今日は  
全然元気がない」という話をよ  
く耳にします。これは、3日前  
に病気が始まったのではなく、  
何かの病気で、3日前にはす  
でも食事も取れないくらいに  
病気が進んでいる、ということ  
なのです。

「もっと早く気付いてあげれ  
ばよかった」と、後悔するこ  
とがないようにしていただきたい  
と思います。

## 病気の早期発見



食事中のヨークシャーテリア。病気を早期に発見する  
には、普段から食べる速さや体重の増減に注意しよう



犬の口の中にてきた腫瘍。嚥を  
めくって観察する習慣を付けて  
おけば、異常に気が付きやす  
い。

食べる速さは？  
では、どうしたらよいのでし  
ようか。私が獣医師になりたて  
の頃は、「普段の動物たちの様  
子をよく見ておきなさい。その  
ためには動物たちの世話をしな  
さい」と教わりました。

「出にくそうではな  
いかなどです。  
他にも、普段遊んでいる時な  
どに、脱毛はないか、おなか  
できものはないか、同じ所を頻  
繁に舐めているかなどを、少  
し気にかけて見てください。そ  
れだけで病気の早期発見につな  
がります。

「以前に比べて動  
きが悪くなった、ガツガツ食  
てしまった」とはありませんか。  
普段の様子をよく観察して知っ  
ておくと、「おや、いつもど  
か違うぞ」と、動物からの小  
さなSOSのメッセージに気が付  
てみましょう。

最後に、飼い主の方にお願  
いがあります。動物の異常に気が  
付いて病院を受診される時は必  
ず、普段の様子を一番よくわか  
っている方が、動物たちを連れ  
てきてくださ  
い。

動物の治療は、飼い主の方の  
協力がなければ成り立ちませ  
ん。大変な疾患ほど、飼い主の  
方の早期発見と病気に對する理  
解、治療に對する協力が必要に  
なります。これからも、かわい  
いペットたちと末永く幸せな毎  
日を過ごされることを願って  
います。

# 普段の様子観察しよう

具体的なチェック項目は、目  
や耳、鼻、口、肛門、陰部、つ  
まり動物たちの体の穴の様子を  
よく見ること、食べる速さ、散  
歩の時の引く張る強さ、排便や  
排尿の回数、便の太さ、色、痛  
がることがあります。  
皮膚病や目の疾患、跛行(足  
を引きずること)などは、すぐ  
に異常に気が付きやすいので  
す。獣医師は今後注意すべきこ  
とや、これ以上ひどくならない  
ための方法を説明してくれま  
す。ささいな疑問も進んで聞い  
てあげることができます。

高齡の動物にとつても、早期  
発見は大切です。飼い主の方は、  
普段からかかりつけ医と相談し  
て健康診断を受けさせましょ  
う。獣医師は今後注意すべきこ  
とや、これ以上ひどくならない  
ための方法を説明してくれま  
す。ささいな疑問も進んで聞い  
てあげることができます。

「日頃から食  
べないようです。その他の症状に  
ついては、私は頼まれただけな  
のでわかりません」と言われ  
ることがあります。何とかして  
あげたいとは思いますが、話を  
うかがうことができれば、  
お手上げです。詳しい情報があ  
いときは検査の範囲を広げな  
け

「いつも一緒 富山のペットた  
ち」は、毎月第1木曜日に掲載し  
ます。

2013年(平成25年)4月4日  
北日本新聞